



# 町村自治

1月 2017 平成 29年

● 発行所 青森県町村会 ● 編集発行人 小笠原 靖介 ● 印刷所 長尾印刷(株)  
〒030-0801 青森市新町二丁目4番1号(年4回発行) TEL 017-723-1331 FAX 017-723-1347  
ホームページ <http://www.aomori-chousonkai.jp/> E-mail [ack@aomori-chousonkai.jp](mailto:ack@aomori-chousonkai.jp)



## 漁港が銀色に染まる！今年も大漁・冬の味覚「ハタハタ」

鱒ヶ沢町では、12月初旬にハタハタ漁の最盛期を迎えます。産卵期を迎えるハタハタの群れが接岸し、大量に水揚げされると、各漁港では漁師の皆さんとご家族、手伝いの人たち総動員で昼夜を問わず選別作業を行います。この選別作業には、各漁船専用のオリジナル台が使用されていて、それぞれ形の違う台で手際よく分けられ出荷されます。

ハタハタの大漁で漁港は銀色に染まり、遊漁客や買い求める人々の行列ができ、冬至の頃までは毎日がお祭りのように浜が活気にあふれます。町を代表する冬の味覚・煮ても焼いてもおいしいハタハタをぜひご賞味ください。

【No. 1213】

〔ハタハタ選別作業 あじがさわまち 鱒ヶ沢町〕



特別区全国連携プロジェクト

- 新年のごあいさつ…………… 2
- 全国町村長大会…………… 4
- 市町村長等特別研修会ほか… 6
- まちづくりへの挑戦 風間浦村…10
- いまが旬！……………12
- 随想 東條鱒ヶ沢町長……………16



青森県・函館デスティネーションキャンペーン  
マスコットキャラクター「いくべえ」®



# 新春にあたり

青森県町村会長 吉田 豊

新年あけましておめでとうござい  
ます。

町村長をはじめ関係各位におかれま  
しては、新春をお健やかに迎えのこ  
とと心からお慶び申し上げますと  
もに、日頃の本会に対する御理解と御協  
力に厚く御礼申し上げます。

現在、わが国は急速な少子高齢化や  
人口減少、基幹産業である農林水産業  
の衰退など極めて厳しい環境下にあり  
ますが、われわれ町村は、自主的・自  
立的に地域特性や資源を活かした様々  
な施策を展開し、豊かな住民生活と個  
性溢れる多様な地域づくりに邁進して  
いかなければなりません。

こうした中、本会は町村が直面して  
いる喫緊の課題に対応するため、要請  
活動等を通し、町村の声を訴えて参り  
ました。

昨年六月には、本会と県、県市長会  
の合同により、県選出国会議員に対し、  
地方創生の推進や地方財政基盤の充  
実・強化などの重点施策を説明すると

ともに、自由民主党並びに関係省庁に  
対し重点施策の要請活動を実施しまし  
た。また、市町村長会議では本会から  
の提言事項を県に説明するなど、適時  
適切な要請活動等を実施してきたとこ  
ろであります。

また、昨年六月、本会と県市長会は、  
東京二十三区・特別区長会と共に発展・  
成長しながら共存・共栄を図っていく  
ことを目的に、連携・協力に関する協  
定を締結しました。今後、このことを  
契機として、特別区長会と市町村が連  
携・協力して事業を実施し、首都圏と  
の更なる交流を深めるとともに、首都  
圏に向けた情報発信を広域的に取り組  
むことにより、町村の振興発展に寄与  
するものとなるよう、事業等に取り組  
んで参ります。

昨年三月に開業した北海道新幹線や  
全線開通している東北新幹線、航空機  
船舶等の交通網を組み合わせた立体観  
光の推進や、町村が持つ豊かな自然、  
文化、歴史、特産品等多彩な魅力の活

## あけましておめでとうござい

青森県町村会

会 長 吉 田 豊

副 会 長 金 澤 満 春

同 森 内 勇

理 事 阿 部 義 治

同 相 川 正 光

同 関 和 典

同 斗 賀 壽 一

同 飯 田 浩 一

同 山 本 晴 美



用による交流人口、観光客の増大等を  
図るため、本会では町村が実施する事  
業に対し、県市町村振興協会の支援を  
得て、町村の魅力発信事業への助成を  
継続して実施して参りました。

申し上げるまでもなく、町村が様々  
な施策を着実に実施していくためには、  
何よりも地方の自主財源を拡充し、町  
村の財政基盤を強化することが不可欠  
であります。

平成二十九年政府予算案における  
地方財政対策では、一般財源総額が前  
年度を上回る六十二兆一千億円が確  
保されましたが、地方交付税総額は  
四千億円減の十六兆三千億円となりま  
した。財政力の弱い町村にとって、地  
方交付税は生命線ともいえるべき極めて  
重要な財源でありますので、国に対し  
ては今後も「まち・ひと・しごと創生  
事業費」の拡充や、「歳出特別枠」の  
堅持、地方交付税等の一般財源総額を  
確実に確保することなどを求めて参り  
ます。

政府は「一億総活躍社会の実現」  
を内政の重要課題に掲げております。  
一億総活躍社会の実現のためには、子  
育て、医療・介護等の社会保障の充実  
や地方創生を一層推進していく必要が  
あります。私も町村長は、地方創生  
を日本創生に繋げていくという強い覚  
悟を持って、政府と十分連携し、全力  
でこの課題に取り組んで参る所存であ  
ります。

高い品質を誇るわが県の農林水産物  
が、国内外で競争力を持つことはもと  
より重要であります。一方で、農山漁  
村に人々が暮らし続けることによって、  
国土や景観、文化や風土などが維持さ  
れており、また、農山漁村は、様々な  
可能性を有し、農村価値の創生を通じ  
て、田園回帰の動きを加速させ、都市  
と農山漁村が共生する社会を創造する  
ことは、人口減少時代に突入した中、  
活力を維持するためにも重要でありま  
す。

このようなことから、農林漁業と農  
山漁村がともに繁栄する姿を維持する  
ために、農林漁業者が意欲と希望を  
持つて経営に取り組めるよう、農林水  
産業の振興施策を講じるよう訴えて参  
ります。

今後とも本会は、町村の活力あふれ  
る地域社会と輝かしい未来の実現に向  
け、町村長相互の連携を一層強固なも  
のとし、直面する困難な課題に積極果  
敢に取り組むとともに、県をはじめ全  
国町村会、関係機関と連携し、山積す  
る諸課題の解決に向けて全力を尽くし  
て活動を展開して参る所存であります  
ので、引き続き皆様方の御支援と御協  
力をお願い申し上げます。

町村長をはじめ関係各位の益々の御  
健勝と御活躍、また地域社会の発展を  
心から祈念いたしましたして、新年の御挨拶  
といたします。

## 謹んで新春のお慶びを申し上げます

監事 三浦正名

同 吉田満

同 平田博幸

常務理事兼事務局長

小笠原靖介

ほか職員一同

青森県市町村総合事務組合

管理者 吉田豊

青森県広報広聴協議会

会長 吉田豊

全国山村過疎地域振興連盟

青森県支部 支部長 野坂充

発電関係市町村全国協議会

青森県支部 支部長 関和典

# 震災からの復興、 地方創生の推進などを訴える 全国町村長大会



全国町村会は十一月十六日、東京都のNHKホールで全国町村長大会を開催し、県内町村長をはじめ、全国の町村長など約千三百人が出席した。

大会では、藤原全国町村会長（長野県川上村長）があいさつし、「安倍内閣が最重要課題に掲げている『一億総活躍社会の実現』のためには、社会保障の充実と地方創生を一層推進していく必要がある。

町村長は、地方創生を日本創生につなげていくという強い覚悟を持って、全力でこの課題に取り組む。町村長相互の連携を強固にして、困難な課題に積極果敢に取り組んでいこう。」と訴えた。

この後、安倍内閣総理大臣などの来賓あいさつに続き、町村長への応援メッセージとして、東京大学名誉教授の神野氏が、参加した町村長等を激励した。

その後、議事に入り、町村行財政をめぐる諸問題解決に向けた十項目の決議案と、参議院の合区の早期解消に関する特別決議案が、満場一致で決定し、さらに、三十三項目の大会要望も一括採択された。

## 決議（項目抜粋）

一、東日本大震災及び平成

二十八年熊本地震からの復興の加速化をはかるとともに、全国的な防災・減災対策を強力に推進すること。

一、一億総活躍社会の実現に向け、地方創生を推進すること。

一、地方分権改革を推進すること。

一、道州制は導入しないこと。「まち・ひと・しごと創生事業費」を拡充するとともに、歳出特別枠を堅持し、地方交付税等の一般財源の総額を確保すること。

一、ゴルフ場利用税を堅持するとともに、全国森林環境税を早期に導入すること。

一、農林漁業の振興による農山漁村の再生・活性化をはかること。

一、田園回帰の時代を拓き、都市と農山漁村の共生社会を実現すること。

一、農林漁業者が将来に希望を持てるよう、TPP対策に万全を期すこと。

一、領土・外交問題に毅然とした姿勢で臨むこと。

# 本県、岩手、秋田で 合同研修

北東北三県町村長中央研修会



田崎氏が政局展望

本会、岩手県町村会、秋田県町村会は三者合同により、十一月十六日、東京都のホテルニューオータニで北東北三県町村長中央研修会を開催した。出席者は各県町村長及び事務局長等約八十人。

研修会では、岩手県町村会の民部田会長のあいさつに続き、時事通信社特別解説委員の田崎史郎氏が「日本の政治は良くなるか」と題し講演した。



## 自治功労者の推薦等を決定

第5回理事会

本会は十月七日、青森市の青森国際ホテルで理事会を開催した。出席者は吉田会長をはじめ役員町村長十一人。

理事会では全国町村会表彰規程による自治功労者の推薦など三件の事項を協議した。協議事項は次のとおり。

### 協議事項

○全国町村会表彰規程による自治功労者の推薦について

○青森県町村会表彰規程による被表彰者について  
自治功労者として百八十七名を被表彰者とする。

○県選出国会議員との懇談会並びに平成二十八年北東北三県町村長中央研修会及び北東北三県町村長中央交流会の開催について  
懇談会は十一月十五日、研修会及び交流会は十一月十六日、全国町村長大会終了後に開催する。

## 平成二十九年 度法令外負担金を審査

### 負担金等委員会

本会は十月二十五日、青森市の県共同ビルで負担金等委員会を開催した。出席者は吉田会長をはじめ委員の町村長十人（代理含む）。

をさらに圧迫する法令外負担金等の負担内容を明確化し、町村行財政の安定と効率的運営を図るため開催するもの。

平成二十九年度の法令外負担金規制団体は四十五団体（対前年度比 増減なし）で、

総額九千二百二十一万二千三百三十円の申請があり、審議の結果、平成二十九年度の負担額は、申請額どおり決定した。また会議では、各法令外団体は新たな視点で目的や事業の抜本的な検討・協議が必要であるとの認識の下、各法令外団体に対し、次の事項を申し入れることとした。

1. 経費節減や予算における繰越金等を含めた団体運営のあり方について常日頃から見直しをし、町村負担金の減額に努めること。
2. 町村負担金は、本会への申請額を上限とし、事業費等の増額に連動し町村負担総額を増額しないこと。
3. 会員市町村数等の減少に伴い、均等割負担金を増額しないこと。また、賦課基準とする数値が減少した場合は、現行の町村負担金を維持するため、賦課基準の単価を増額しないこと。
4. 他団体と統合した団体においては、統合に伴う事務運営の効率化により町村負担の軽減を図ること。



負担金等委員会

# 「青森の気象災害と気候変動について」をテーマに講演

市町村長等特別研修会



昨今の本県気候について解説する平井氏

本会は、県市長会、県市町村振興協会との共催により、十月七日、青森市の青森国際ホテルで市町村長等特別研修会を開催した。出席者は市町



吉田会長があいさつ

村長や幹部職員等約百十人。

本研修会は、広島市などの土砂災害や、平成二十八年に気象庁が統計を取り始めて以来、初めて東北地方太平洋側に上陸した台風十号により本県も大きな被害を受けるなど、各自治体は大規模災害に備えた防災対策の一層の充実強化が求められていることから、風水害に対する正しい知識を身に付け、防災力の向上に活かすことを目的に開催した。

研修会では、NHK気象キャスターの平井信行氏が「青森の気象災害と気候変動について」と題し、講演を行った。

平井氏は本県の昨夏の平均

気温が平年と比べて高かった原因について「昨夏から今春にかけてのエルニーニョ現象により放出された熱が大気中に残っていたことと、今夏のラニーニャ現象による台風の多発に伴う高気圧の強化が原因である」とした。

また、県内で記録的な風雨となった平成二十八年台風十号について「台風十号は複雑な動きをしたが、その原因は二つあり、一つは複数の台風が近くに隣接している」と、相互作用によって複雑な動きをする「藤原の効果」、もう一つは寒冷渦とブロッキング高気圧の影響である。一九五一年以降初めてのことが、それ以前にもあったことが分かっている」と述べた。

そして、本県の今冬の天候見通しについては「この冬、東北は暖冬傾向で、日本海側の降雪は平年並み、太平洋側は平年より晴れが少ないであろう」と推測した。

そのほか、平成二十八年台風十八号により沖縄本島地方に発表された特別警報や、本県の気候変動などについて解説があった。

## 「期待される中堅職員像」とは

市町村職員等意識啓発セミナー



天野氏が講演

本会は県市長会、県市町村振興協会との共催により、十一月七日、青森市のアップパレス青森で市町村職員等意識啓発セミナーを開催した。出席者は県及び市町村職員等七十人。

セミナーでは、岩手県立大学名誉教授で元青森公立大学大学院教授の天野巡一氏が「期待される中堅職員像」と

題し、講演を行った。

講演では、自治体とその職員を取り巻く環境について、NPO法人や指定管理者制度など民間の活用に伴う自治体行政の広域化により、自治体行政が独占ではなくなり公務員が淘汰される時代にあるとし、「自治体を取り巻く環境の変化にどのように適応していくかが、これからの公務員に求められる」と述べた。

また、中堅職員が抱える部下との人間関係について「後輩は信頼しても、ケアレミスがあるかもしれないので信用はしない。短所を指摘せず、長所は伸ばす。ダメ出しは具体的に、間を置かずにするべきだ」と語った。

そのほか、自分磨きの考え方、交渉力、管理職の資質、これからの市町村の方向性などについて、武蔵野市役所職員時代の経験や、これまでの研究成果などを交え、説明した。

# 青森の魅力を実感

## 農水省職員農村研修

農林水産省では、将来幹部職員として農林水産行政を担当する入省後2年目の本省庁在勤職員等を、農林水産業の振興及び農山漁村の活性化に努力している農・漁村へ派遣し、農業や漁業を体験させることにより、農林水産行政担当者としての資質向上を図ることを目的として、農村研修を実施しています。

このたび平成28年度研修生、関口美穂氏、田中智樹氏、藤田良彰氏から、一カ月の研修を終え、感想を寄稿していただきました。

農林水産省 大臣官房秘書課

関口 美穂

私は、平成二十八年九月月から青森県鰯ヶ沢町で養豚・

自然牧場株式会社にて農村研修で一カ月間お世話になりました。私自身農業体験は何度か経験がありますが、畜産業と農業の生産現場を一カ月間研修で



長谷川自然牧場で研修を行った関口氏

学ぶ機会は初めてでしたので、青森県の自然と農林水産業の豊かさに驚くばかりの毎日です。大変貴重な時間となりました。長谷川自然牧場は、自然農法にこだわり、安全安心で美味しい濃厚な卵ととろけるような脂の旨みが溢れる豚肉を生産しています。研修中、農法のこだわりや工夫、販路拡大の取り組みやこれまでの苦労などを伺い、を通して生産現場の生活や考え方、農業の大きな可能性について、身を持って学び、じっくり考えることができました。この研修を通して得たことを業務に活かし、日本の農業の発展に貢献できるよう努力していきたいと考えております。今回研修において出会いお世話になった皆様に心から感謝御礼申し上げます。

農林水産省 食料産業局総務課

田中 智樹

私は八月半ばから一カ月、青森県おいらせ町の有限会社柏崎青果にて研修させていただきました。柏崎青果は主に青森県産の長芋、にんにく、ごぼう、大根、玉ねぎ等を取り扱っており、六次産業化にも積極的に取り組まれています。にんにくを熟成させた黒にんにくでは、世界二十カ国以上に販売しています。また、ごぼうを加工した黒ごぼうやごぼう茶等、多種多様な加工品を製造しています。研修期間中には、農作業、加工現場での作業、営業・販売、世界



柏崎青果で研修を行った田中氏

黒にんにくサミットへの参加で加・運営等、様々なことを体験することができました。特に印象的だったのが世界黒にんにくサミットへの参加であり、大々的なイベントを行って自ら販路を拡大し、市場を開拓する姿に感銘を受けました。本研修を通じて、現場の方々の視点から多くのことを学ぶことができ、今後の業務を進める上でも大変参考になりました。本研修での経験を活かし、今後の業務にも全力で取り組んでまいります。

林野庁 木材利用課

藤田 良彰

私は今年の八月から九月まで、東北町の東北農事組合法人にて研修を行いました。当法人は、総作付面積約百四十ha、年間売上げ五億円超の青森屈指の事業体です。

研修中は、毎日の出荷期限に追われ、酷暑や暴風雨の中で長時間の肉体労働に従事していました。まさに日本人の若者が敬遠する三Kの職場であり、外国人技能実習生やシバルー人材が多いのが特徴的でした。農作業だけでなく、



東北農事組合法人で研修を行った藤田氏

職員の方々は大根の価格変動への対処、黒ニンニクの開発等の事業戦略を日夜練っておられ、つくづく農業ビジネスの難しさを実感しました。以上のように農業の過酷さを頭と体に叩き込まれた一カ月間でしたが、体が慣れるにつれ農作業の楽しさも分かっ

ていき、研修終盤では、この日々が続いてもかまわないとさえ思うようになっていました。

霞ヶ関で政治家や業界団体を相手に仕事をしているだけでは、今回学べた「現場」は決して学べなかつたでしょう。非常に実りある研修を行えたと思います。

# 平成二十七年年度の決算を認定

## 県市町村総合事務組合

県市町村総合事務組合は、十月二十五日、青森市の県共同ビルで第二回議会定例会を開催した。出席者は吉田管理者をはじめ議員等の市町村長九人。

定例会では、議案四件と報告事項六件を審議し、それぞれ原案どおり承認、決定した。

○議案第一号 平成二十七年

度青森県市町村総合事務組合一般会計歳入歳出決算の認定を求めるの件 Ⅱ 歳入総額八億六千八百八十六万三千余円に對して歳出総額八億五千九百三十三万余円で、歳入歳出差

引額九百五十三万三千余円。

○議案第二号 平成二十七年

度青森県市町村総合事務組合市町村税等滞納整理特別会計歳入歳出決算の認定を求めるの件 Ⅱ 歳入総額九千七百一十七万七千余円に對して歳出総額七千七百三十九万六千余円で、歳入歳出差引額千四百三十二万余円。

○議案第三号 平成二十八年

度青森県市町村総合事務組合一般会計補正予算（補正第一号）案 Ⅱ 歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ三百九十三万円を追加し、歳入歳出

予算の総額を歳入歳出それぞれ八億七千二百六十五万九千円とする。

○議案第四号 平成二十八年

度青森県市町村総合事務組合市町村税等滞納整理特別会計補正予算（補正第一号）案 Ⅱ 歳入歳出予算の内訳において、七百一十万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ八千七百八十万千円とする。

○報告第一号 専決処分した

事項の報告及び承認を求めるの件（平成二十八年専決第一号）青森県市町村総合事務組合職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例） Ⅱ 地方公務員法の改正に伴う所要の改正を行ったもの。

○報告第二号 専決処分した

事項の報告及び承認を求めるの件（平成二十八年専決第二号）青森県市町村総合事務組合職員の分限に関する手続及び効果についての条例の一部を改正する条例） Ⅱ 地方公務員法第二十三条の二規定による人事評価の実施等により、職員の降給の事由及び手続を定め、その他所定の整備を



議案4件と報告事項6件を審議

組合職員の給与に関する条例の一部を改正する条例） Ⅱ 地方公務員法の改正に伴い、人事評価の結果に応じて昇級及び勤勉手当の支給を行うこととする等の条文の改正を行ったもの。

○報告第五号 専決処分した事項の報告及び承認を求めるの件（平成二十八年専決第五号）青森県市町村総合事務組合一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例） Ⅱ 地方公務員法の改正に伴い、特定任期付職員の職務を給料表に掲げる号級に分類するものとし、その分類の基準となるべき職務の内容を定めるため、所要の改正を行ったもの。

○報告第六号 専決処分した

事項の報告及び承認を求めるの件（平成二十八年専決第六号）青森県市町村消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例） Ⅱ 行政不服審査法及び「非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の一部を改正する政令」が平成二十八年四月一日に施行したことに伴い、所要の改正を行ったもの。

## 町村長選挙結果

深浦町長 吉田 満 氏



よした みつる  
任期満了に伴う深浦町長選挙は、十一月二十日、投票が行われ、現職の吉田満氏（63）が三選を果たしました。（略歴）町議会議長



三戸町長

まつお  
松尾

かずひこ  
和彦氏

任期満了に伴う三戸町長選挙は、十一月二十日、投票が行われ、新人の松尾和彦氏(53)が初当選を果たしました。  
(略歴) 県議会議員



横浜町長

のざか  
野坂

みつる  
充氏

任期満了に伴う横浜町長選挙は、十二月四日、投票が行われ、現職の野坂充氏(65)が四選を果たしました。  
(略歴) 町議会議長、町観光協会長



田舎館村長

すずき  
鈴木

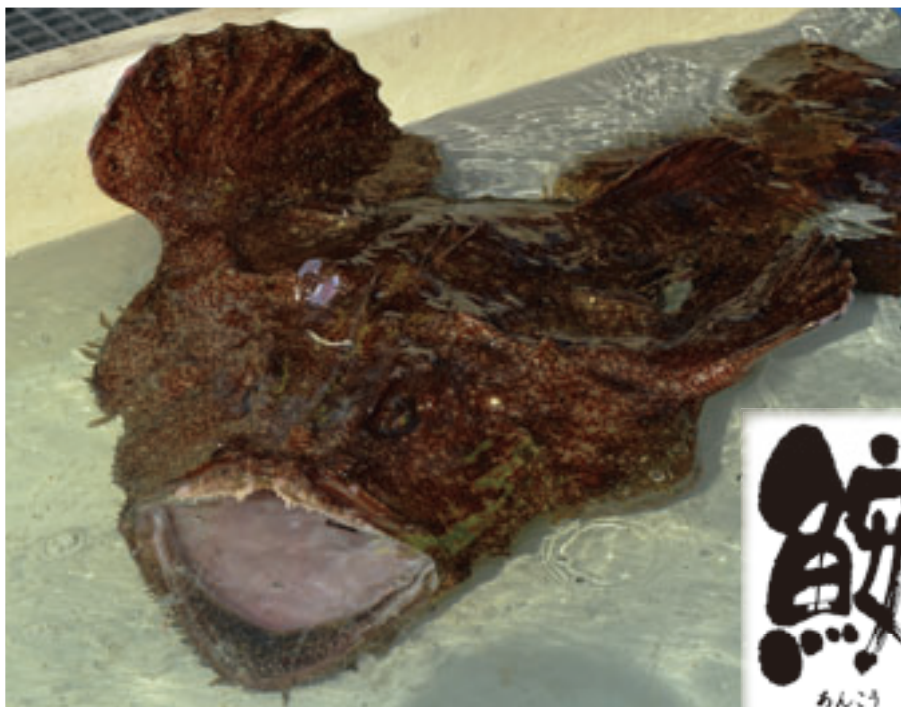
こうゆう  
孝雄氏

任期満了に伴う田舎館村長選挙は、十月三十日、投票が行われ、現職の鈴木孝雄氏(79)が四選を果たしました。  
(略歴) 村議会議長

## 青森県町村長等名簿

平成28年12月26日現在  
町村数30町村(22町8村)

区分		町村長氏名	生年月日	当選回数	任期満了年月日	副町村長氏名
東郡	平内町	船橋茂久	S24. 7. 17	2	31. 11. 14	山田光昭
	今別町	阿部義治	S25. 9. 18	1	29. 10. 12	
	外ヶ浜町	森内勇	S13. 3. 2	3	29. 4. 23	沼田謙市
	蓬田村	久慈修一	S25. 8. 1	1	29. 11. 8	
西郡	鱒ヶ沢町	東條昭彦	S16. 4. 15	2	29. 12. 26	佐藤薫
	深浦町	吉田満	S28. 9. 9	3	32. 12. 20	菊池雄司
中郡	西目屋村	関和典	S42. 2. 24	3	30. 2. 25	
南郡	藤崎町	平田博幸	S32. 6. 2	2	31. 11. 19	五十嵐晋
	大鰐町	山田年伸	S27. 3. 11	2	30. 7. 21	
	田舎館村	鈴木孝雄	S12. 2. 10	4	32. 11. 17	葛西幸男
北郡	板柳町	成田誠	S28. 3. 4	1	31. 4. 29	村上孝夫
	鶴田町	相川正光	S28. 10. 29	1	30. 8. 20	
	中泊町	小野俊逸	S17. 7. 29	5	29. 4. 23	秋元良一
上北郡	野辺地町	中谷純逸	S24. 8. 16	2	31. 10. 26	松山英樹
	七戸町	小又勉	S24. 1. 2	3	29. 4. 23	似鳥和彦
	六戸町	吉田豊	S25. 3. 28	7	32. 1. 27	保土澤正教
	横浜町	野坂充	S26. 1. 31	4	32. 12. 11	新渡喜広
	東北町	斗賀壽一	S19. 7. 2	2	29. 4. 23	
	おいらせ町	三村正太郎	S24. 10. 7	5	30. 3. 25	
下北郡	六ヶ所村	戸田衛	S22. 1. 28	1	30. 7. 6	橋本晋
	大間町	金澤満春	S25. 3. 9	3	29. 1. 18	菊池武利
	東通村	越善靖夫	S17. 1. 7	5	29. 4. 12	林春美
	風間浦村	飯田浩一	S35. 5. 5	2	31. 4. 25	
	佐井村	樋口秀視	S26. 4. 10	1	30. 4. 26	
三戸郡	三戸町	松尾和彦	S38. 5. 9	1	32. 12. 15	
	五戸町	三浦正名	S29. 1. 1	5	31. 6. 26	鳥谷部禮三郎
	田子町	山本晴美	S39. 4. 10	2	32. 1. 14	原昌徳
	南部町	工藤祐直	S30. 5. 22	5	30. 2. 11	坂本勝二
	階上町	浜谷豊美	S31. 8. 23	3	29. 12. 23	沼沢範雄
新郷村	須藤良美	S15. 3. 29	3	29. 5. 28	横田孝夫	



全国でも珍しい生きたまま水揚げされる活あんこう



「風間浦鮫鯨」ブランドで消費拡大へ

漁業と観光が一体となった村づくり

風間浦村では村内漁協と関係団体が共に「風間浦鮫鯨」のブランド化及び消費拡大に努め、平成二十年には地域団体商標登録されました。昨今、その取り組みが高く評価され、昨年十一月には農林水産省などが主催する農林水産祭の日本農林漁業振興会会長賞を受賞しました。

おいしい健康食材 「あんこう」

津軽海峡は、あんこうが住みやすい海域です。村では漁

が十二月頃から四月にかけて行われ、特に冬期のあんこうがおいしいと言われます。

あんこうは唇のみを残し、体の部位ほとんどを食すこと



あんこうのフルコース料理

ができ、身は柔らかく、皮やひれ、胃、卵巣、えらなどは弾力に富んだ食感で、鍋などに重宝されます。

また、肝は味噌や酢でなめらかにし、身や胃袋、皮などを和えた「とも和え」と呼ばれる郷土料理に用いられます。

栄養面では、皮のゼラチン質にはコラーゲンが多く含まれ美容効果が期待でき、また、肝は栄養満点で、不飽和脂肪酸やビタミン・ミネラルが豊富に含まれています。

村が抱える悩み

村では古くから漁業が盛んで、あんこうのほか、イカやタコ、ウニ、アワビ、海藻類などが豊富に水揚げされます。しかし、近年は漁獲の減少や

# 風間浦 鮫鯨まつり



1 村伝統、雪中切りの美演を観ることができる 2 3 4 地域の方々が丹精に作るあんこう鍋。会場ではあんこう鍋400杯のほか、あんこう鮫350セットが安価で販売される 5 昨年2月、「ふるさと名物応援宣言」を行った時の様子 6 会場ではあんこうと記念撮影が行える

価格の低迷、さらには漁業者の高齢化と後継者不足に悩まされています。  
観光業では、室町時代から湯治場として有名な下風呂温泉があり、下風呂温泉郷の宿泊施設では、四季を通じて近海で水揚げされる新鮮で種類豊富な海の幸を提供していま

す。しかし、湯治客の減少や不況などの影響で観光客数は減少傾向にあります。

## 「風間浦鮫鯨」ブランドで村おこし！

地域の漁業と観光の衰退を防ぐため、村内三漁協と関係機関は平成二十二年、「ゆかい村風間浦鮫鯨ブランド化戦略会議」を立ち上げ、「風間浦鮫鯨」のブランド化の推進に向けた本格的な取り組みを始めました。同戦略会議の前身は、あんこうの資源管理を目的に村内三漁協が主体となつて平成二十一年に発足した「風間浦村きあんこう資源管理協議会」です。この協議会の管理の下、あんこうの資源管理が一層徹底され、その後のブランド化の取り組みにも生かされています。

動が功を奏し、平成二十六年九月、あんこうでは初めて「風間浦鮫鯨」が地域団体商標に登録され、地域ブランドとしての信用を高めることができ、知名度向上に寄与しました。さらに昨年十一月、漁業と観光を一体的に結び付けた村づくりのモデル事例になり得るものとして、農林水産祭の日本農林漁業振興会会長賞を受賞し、その取り組みは全国的にも高い評価を得ることになりました。

## 今後の展望

同戦略会議では、今後も資源管理に努めることとしていきます。また、村も引き続き、観光情報の発信を継続しつつ、インバウンド対策も含めた誘客活動を行い、下風呂温泉を下北観光ルートにおける滞在型の観光地となることを目指します。

同戦略会議では毎年、あんこうの漁獲期に村内で「風間浦鮫鯨まつり」を開催するほか、村内飲食店向けメニュー講演会、マスメディア等への情報提供を実施するなど、新メニュー開発や各種PRを行ってきました。  
こうした地域ぐるみでの活

※風間浦村の『ゆかい村風間浦鮫鯨ブランド戦略会議』に関するお問い合わせは、風間浦村役場産業建設課（電話番号〇一七五―三五―二一一）までお願いします。



問い合わせ先 mimamaya yoshitsune no yu  
TEL 0174-31-0300

義経伝説が伝わる外ヶ浜町三厩地区に、新しく「外ヶ浜町健康増進センター・みんなまよしつねの湯」が出来ました！

厩石や義経寺など観光名所も近くにあり、町内外の方々の憩いの場として賑わっています。

アメニティグッズも販売されており、手ぶらでも安心して入浴できますので、お気軽にお立ち寄りください。

○温泉：炭酸カルシウム人工温泉（サウナあり）

○営業時間：10時～20時（定休日：火曜日）

○入浴料：大人350円・中人150円・小人50円

義経伝説に浸かるっ！  
「みんなまよしつねの湯」

いまが旬!  
そこがほままぢ  
外ヶ浜町

東津軽郡



問い合わせ先 田舎館村役場企画観光課  
TEL 0172-58-2111

スノーシューで雪原を歩き模様を描く「スノーアート」。

田んぼアートの田舎館村に、アートの二毛作が登場します。

ヨーロッパを中心に活動している第一人者のサイモン・ベック氏が来日し、田舎館村第2田んぼアート約10,000㎡に巨大なスノーアートを描きます。

○開催期間：平成29年2月9日（木）～12日（月）

○会場：弥生の里展望所  
（道の駅いなかだて敷地内）

冬の田んぼアート

いまが旬!  
いなかだてむら  
田舎館村

南津軽郡



問い合わせ先 鶴田町役場産業観光課農業振興班  
TEL 0172-22-2111（内線291）

生産量日本一を誇る鶴田町のスチューベンは、糖度が18度から22度とぶどうの中でも群を抜いて甘く、秋の収穫から翌年2月頃までおいしく食べられます。

町では、この「冬ぶどうつるたスチューベン」を全国にPRするため、毎年、「スチューベンぶどう祭り」を開催しているほか、県外でのトップセールスを行い、販路拡大やブランド化に取り組んでいます。

○冬ぶどうつるたスチューベンの情報はこちらから  
・ホームページURL：<http://steuben.jp/>

冬ぶどうつるたスチューベン

いまが旬!  
つるたまぢ  
鶴田町

北津軽郡



問い合わせ先 七戸町スキー場  
TEL 0176-62-5612

さむ～い冬は、つつい家に引きこもりがち…。そんな冬こそ体を動かし、正月太りを解消しよう！コースの斜度は15度～35度と、初心者から上級者まで幅広く対応。他にはない格安設定で、皆さまをお待ちしています。

【料金】

1日券：2,000円（大人）／1,000円（中学生以下）

七戸町営スキー場 営業中！

いまが旬!  
しちのへまぢ  
七戸町

上北郡

「いまが旬!」  
横浜町

よこはままち

上北郡

横浜町の二大ドーナツ

横浜町では、道の駅よこはまの「菜の花ドーナツ」、湧水亭の「卵の花ドーナツ」という2つのドーナツがあります。菜の花ドーナツは菜花の葉や茎を使い、卵の花ドーナツは豆腐を作ったときに出るおからを使っています。

どちらの店舗も、国道279号沿いにあるお店です。横浜町にドライブの際には、食べ比べしていただけると楽しみが増えるかもしれません。



問い合わせ先 道の駅よこはま 湧水亭  
TEL 0175-78-6687 TEL 0175-78-2233

「いまが旬!」  
東通村

ひがしどおりむら

下北郡

ひがしどおり十割そば

そば乾麺「ひがしどおり十割そば」が平成28年8月から「東通村野牛川レストハウス」などで販売されています。

この乾麺は、そば粉100%、小麦粉や塩などのつなぎを一切使用していません。乾麺ながら、そば湯までしっかりとそばの風味を楽しめる、本格志向のそばです。そばつゆは、尻屋産昆布だしにこだわっています。ぜひお召し上がりください。



問い合わせ先 一般社団法人東通村産業振興公社  
TEL 0175-47-2115

「いまが旬!」  
三戸町

さんへのまち

三戸郡

寒さがおいしさ作る  
凍み豆腐

豆腐を凍らせ、乾燥させた保存食「凍み豆腐」は、栄養価がとても高い健康食品です。SAN・SUN産直ひろばでは、厳しい寒さの中で農家のお母さんが手作りで作った優しい味の凍み豆腐が販売されます。

食堂では、体が温まるひつつみや、香ばしいみそがおいしい串もちも食べられます。ぜひ、懐かしいおいしさを味わいにお越しください。



問い合わせ先 SAN・SUN 産直ひろば  
TEL 0179-22-3266

「いまが旬!」  
五戸町

ごへのまち

三戸郡

五戸まちあるき

「五戸まちあるき」で五戸を堪能してみませんか？

坂！坂！坂！！

五戸まちあるきでは五戸の土地特性を活かしたガイド付きのユニークなまちあるきを行っております。坂があるからこそ見られる景色・ノスタルジックな路地裏を歩いて楽しむことができます。

“五戸坂道”を堪能したあとは五戸名物「馬肉料理」と地酒でお腹を満たしてみませんか？



問い合わせ先 五戸町観光協会  
TEL 0178-62-7155

# 「食」や「まち」の

## 魅力が東京に集まる！

### 特別区全国連携プロジェクト 魅力発信イベント

十二月十六日から十八日までの三日間、特別区長会が主催する「特別区全国連携プロジェクト」が、東京都浅草の「まるごとっぽん」で開催された。「特別区全国連携プロジェクト」は、東京二十三区が全国各地域と様々な分野で連携し、経済の活性化、まちの元気につなげる取り組みであり、平成二十八年六月、特別区長会と本会及び県市長会は連携協定を締結している。その一環として本イベントでは、連



開催記念セレモニーの様子



会場には多数の来場者が訪れた

携協定を締結した北海道、京都府、青森県の各自治体が参加し、それぞれの「食」や「まち」の魅力をPRした。会場内では、各自治体自慢の旬の食材を使ったおでんを販売する「こだわりおでんサミット」ブースや、地酒の飲み比べができる「こだわり地酒BAR」ステージなどに、多数の来場者が訪れた。そのほか、PRステージでは、ご当地キャラクターによる自治体のPRや、郷土芸能が披露されるなど、各地域の「魅力」を首都圏に広く発信した。

### ● 共済契約できる自動車

1. あなたの所有する
2. あなたと同一世帯に属する親族（同居の親族）の所有する

- 自家用普通・小型乗用自動車
- 自家用軽四輪自動車
- 自動二輪車 ● 原動機付自転車

### ● 共済掛金と共済金額

共済金額	用途及び車種区分	共済掛金額（年間）			
		自家用普通・小型乗用 小型貨物車(660cc超)	自家用軽四輪乗用 貨物車(660cc以下)	自動二輪車 (125cc超)	原動機付自転車 (125cc以下)
A型	対人賠償 対物賠償 自損事故 限定搭乗者 無制限 1,000万円 1,500万円 500万円	30,000円	19,000円	17,000円	12,000円
B型	対人賠償 対物賠償 自損事故 限定搭乗者 無制限 無制限 1,500万円 1,000万円	33,000円	21,000円	20,000円	14,000円

※無共済等自動車傷害共済・他者運転特約も自動付帯。 ※自賠責保険と共済金の一括払も実施しています。

### 町村生協の自動車共済にご加入の皆様なら！

町村生協の自動車共済にご加入の方のみ、車両共済（保険）に加入できます

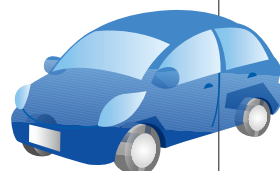
- 町村生協の自動車共済で過去3年間無事故で、新たに車両共済（保険）に加入する場合、新規契約と比較して

**43%割引（9等級）からスタート！**

- 一括払いでご契約の場合は、さらに **5%割引！**
- 保険料分割払（12回）も選択可能です。
- **NEW!!** 平成29年1月からロードサービスが自動付帯

いつでもご加入いただけますので下記までお問い合わせ願います。

問合せ先 全国町村職員生活協同組合青森県支部  
青森県町村会業務共済課 TEL017 (723) 1331



万一の事故に備えを！

# 自動車共済

## 加入推進に理解と協力を

共済事業地区別事務打合せ

本会は十月上旬から下旬にかけて、県内六地区八会場において、関係市町村及び一部事務組合などを対象に、災害共済関係事業地区別事務打合会を開催した。

打合会では、本会の各共済事業の幹事会社である損保ジャパン日本興亜(株)及び日本生命保険相互会社から各事業の制度内容について、本会事務局からは公有建物共済における基率の改定並びに「標準的pi単価」の改正や、職員関係各種共済事業における新規・更新等加入取扱に関する留意事項などを説明し、本会共済事業の加入推進への理解と協力を呼びかけた。

### 開催日及び対象地区

十月六日(木)

三戸郡

十月七日(金)

下北郡・むつ市

十月十二日(水)

中津軽郡・南津軽郡・黒石市・平川市

十月十三日(木)

西津軽郡・北津軽郡・五所川原市・つがる市

十月十四日(金)

西津軽郡・北津軽郡・五所川原市・つがる市

十月十九日(水)

上北郡・三沢市・十和田市

十一月二十日(金)

上北郡・三沢市・十和田市

十一月二十一日(金)

東津軽郡

### 主な打合事項

1 各共済事業幹事会社制度内容説明

2 任意生命共済 平成二十九年新規・更新加入について

3 個人年金共済 平成二十九年新規・更新加入の取扱について

4 職員生協火災・自動車共済 平成二十九年一月継続の取扱について

5 職員生協火災共済 共済金の請求について

6 公有建物共済基準額の見直し並びに基率の改定に伴う委託契約の見直しについて

7 公有建物共済 共済金の請求について

8 自動車事故について

# 安い掛金で大きな補償を

## ●共済契約できる物件

- あなたの所有する居住用建物、または、その建物内にある動産
- あなたと同一世帯に属する親族が所有し、かつ、あなたが現に同居している建物または、その建物内にある動産

## ●共済掛金と共済金額

共済掛金(年額)は共済契約1口(10万円)につき60円です。契約額の最高限度は、600口・6,000万円が限度です。

共 済 契 約 の 最 高 限 度			
区 分	口 数	共済金額	共済掛金
建物のみの場合	400口	4,000万円	24,000円
動産のみの場合	200口	2,000万円	12,000円
建物と動産を併せた場合	600口	6,000万円	36,000円

## 風水雪害特約制度

風水雪害特約制度は、風水雪害による損害について、火災共済契約に任意に付加することにより共済金を支払う特約制度です。特約を付加していない場合、風災、水災又は雪災による損害は、損害額が50万円以上の場合、損害の程度に応じ給付され、全損の場合では100分の10又は450万円のいずれか低い額の給付ですが、特約に加入することにより、火災共済契約の風水雪害共済金に加算して風水雪害特約共済金を損害額の50%又は火災共済契約額の50%のいずれか少ない額を限度に支払います。(ただし、風水雪害共済金と特約共済金の支払合計額が3,000万円を超える場合、3,000万円が限度となります。)特約共済掛金は、一口10万円につき50円です。(火災共済契約と同額を特約共済金額とします。)



# 住宅火災共済

確かな安心を!



とう じょう  
**東條**

あき ひこ  
**昭彦**

鰯ヶ沢町長



**随 想**

第32話

プロフィール

町議会議員

現在2期目、75歳

四季の魅力盛り沢山！

元氣あふれるまちを目指して

鰯ヶ沢町は、青森県の西部、日本海に面した人口一万五千人ほどの町です。町の歴史は古く、津軽を統一した津軽為信公の先祖にあたる大浦光信公が岩手県久慈市から鰯ヶ沢種里の地に入り、津軽の統一を目指してその礎を築き、藩政時代には、津軽藩の御用港として、西回り航路を往来する北前船で大いに栄え、繁栄を極めました。

当町は、豊かな自然に恵まれ、赤石川はじめ、中村川、鳴沢川の三つの清流が日本海に注ぎ、秀峰岩木山がそびえ立つ山紫水明なる土地柄でもあります。中村川は、毎年五月になるとシロウオが産卵のため川を遡上し春の訪れを告げてくれます。七月一日には、アユ釣りが解禁され、赤石川の金鮎を求めアユ釣りファンで大いに賑わいを見せてくれます。また、ブナ原生林の生い茂る世界自然遺産白神山地を有し、日本海の新鮮な魚介類や四季折々の多種多様な旬の食材の、まさに宝庫でもあります。春は山々の新緑、夏は無限に波打つ大海原、秋は燃えたつような赤石溪流の紅葉、冬は温泉とスキー。どの

季節でも楽しめるのがこの町の大きな特徴でもあるのです。私は、若い頃から町の活性化のため何ができるのか考えており、平成十二年から平成二十一年まで町議会議員を歴任していましたが、この町を自分の手で元気にしたいとの強い思いから、平成二十一年十二月に町長に就任し、以来一貫して元氣あふれる町づくりの推進に努めてきました。

厳しい財政状況の中、各施策の推進に努めてきましたが、特に力を注いだのが健康増進事業であり、町民がいきいきと楽しく心身ともに健やかで元気に暮らせる町を目指しています。平成二十六年七月には、青森県内全町村に先駆けて、「元氣・寿命・幸せアツプあじがさわ健康宣言」を実



健康宣言

施し、町民と行政が一体となつて健康意識の向上と生活習慣の見直しなどに取り組んでいます。健康フェスタや講演会の開催のほか健康スタンプリー、中学生を対象とした健康事業、健診受診率アップのため様々な助成措置を講じるなど、町民誰もが元氣な町づくりに努めています。

また、健やかな妊娠・出産・育児の支援強化に取り組んでいる母子支援センター事業の充実にも力を注いでいるほか、何よりも職員自身が健康でなければならぬとの思いから、就業開始時間前にラジオ体操を励行しており、私自身もウォーキングを行い、健康管理に努めています。もちろん、一朝一夕に効果が出るものではありませんが、他市町村と比較しても平均寿命が短いことから、今後も積極的に取り組むと考えています。

その一方、情報技術の普及が進む今日、インターネットを活用して地域活性化が図れないかと考え、昨年十月には、(株)楽天、(株)青銀、鰯ヶ沢町の三者で「インターネットサービス等を通じた地域活性化にかかる包括連携協定」を締結しました。地域金融機関を加えた協定は、全国で初めての試みであり、協定内容は、鰯ヶ沢町内の学校と連携した新たな教育、育成プロゲ

ラムの創設と推進を筆頭に鰯ヶ沢産品の販路拡大、観光誘客の促進等、全部で九項目の内容となっております。その中でも特に人材育成は最も重要と考え、電子商取引体験やふるさと納税お礼品の開発などを通して、広い視野を持った人材育成と、併せて地域活性化にもつなげて参りたいと考えています。



3者包括連携協定

最後に、私の好きな言葉に「意志あれば道は開ける」という言葉があります。アメリカ第十六代大統領リンカーンの名言であり、どんなに困難な道であっても、それをやり遂げる意志さえあれば、必ず道は開けるといふ勇氣と希望の湧く言葉でもあります。地方創生の推進に必要な今こそ、町民の目線に立って、子どもからお年寄りまで元氣に安心して住み続けることのできる町づくりの推進に努めて参ります。